

令和 8 年度 エルモふくろまち事業計画書

1 今年度の目標

・初年度に構築した地域とのつながりを活かした活動を行う。
・組織活動の持続性、発展性につながるプラットフォームを構築する。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	エルモふくろまち祭り事業	(8)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 10 月 30 日	
(2) 実施場所	袋町公園	
(3) 参加者数	1,000 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち	
4 取組内容		
袋町公園を舞台にして、袋町全住民を対象に、地域のつながり・交流促進を目的に、各団体、企業等が連携する地域のお祭りを実施する。		
5 目的・効果		
(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) エルモふくろまちの認知度の向上や地域内のつながりや世代間交流を促進し、多様な団体の連携を通じて地域コミュニティの活性化を図る。さらに、日常生活の場である「まち」そのものに愛着と誇りを感じられる環境を育むことを目的とする。		
(2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 世代や立場を超えた住民同士の対話や協働が生まれ、地域コミュニティの一体感が醸成される。各団体 (町内会、PTA、子ども会、商店街など) が祭りを通じて協働することで、今後の地域活動にもつながるネットワークや協力体制が形成される。 小学校や子ども会の参加を通じて、こどもたちが「地域の一員」として関わる機会を得られ、地域への関心・愛着を高めるきっかけとなる。		

1 事業名	防犯パトロール等強化事業	(8)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	120 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>エルモふくろまち、袋町地区青少年健全育成連絡協議会、本通地区防犯連合会・大手町地区防犯連合会</u>	
4 取組内容	夜間の不審者対策やトラブル防止のため、防犯パトロールや、地域の見守り活動を強化し、防犯活動を行う地域団体との連携強化を図り、防犯カメラ設置推進を検討する等、誰もが安心して暮らせるまちを地域の力でつくる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 近年、夜間の治安悪化や観光客増加に伴うトラブル・犯罪への懸念が地域住民から高まっている。これに対応するため、地域住民等による見守り活動を強化し、地域の力で「誰もが安心して暮らせるまち」を実現することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 見守り活動や地域のパトロールが日常的に行われることで、「地域に目が届いている」という安心感が住民に生まれる。見守り活動を通じた住民同士の連携が深まり、防犯以外の助け合いや交流のきっかけとなる。防犯体制が整っていることを可視化することで、観光客にとっても安全なまちという印象を与え、地域イメージの向上につながる。	

1 事業名	平和大通り及び街区清掃活動事業	(8)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>エルモふくろまち、袋町地区公衆衛生推進協議会、 広島市中央部商店街振興組合連合会</u>	
4 取組内容	平和大通り等の一斉清掃・落書き消し・緑化活動の実施を通じ、地域の環境を守り、美しいまちづくりを推進する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域内で発生しているポイ捨てや落書き、カラスによる被害などの生活環境の悪化に対し、地域住民が主体となってごみ拾いや落書き消し、緑化活動などを行うことで、清潔で快適なまちを維持・再生し、住民の誇りと愛着を育む「美しいまちづくり」を推進することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 定期的な清掃活動や緑化によって、街の美しさや快適性が向上し、誰もが気持ちよく過ごせる環境が整う。ごみ拾いや落書き消しに関わることで、地域の環境に対する意識やマナー向上が期待される。環境が整った地域は「管理されている場所」として認識されやすく、不審者の侵入や犯罪の抑止にもつながる。清掃や緑化活動などをきっかけに、世代を超えた交流や協力が生まれ、地域コミュニティの結びつきが深まる。	

1 事業名	防災対策事業	(8)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町小学校校庭など	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 自主防災ふくろまち、袋町地区社会福祉協議会、エルモふくろまち	
4 取組内容	袋町地区生活避難場所運営本部組織の情報広報班をはじめとする各班2名体制から協力できるスタッフの拡大を図る募集チラシの作成をする。 初期消火などに役立つ消火器の扱い方など消火体験を実施する。 応急手当（応急手当法、心肺蘇生法、AED 取扱方法）などを学ぶ。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） いつ発生するかわからない自然災害に対応するため、地区防災訓練、イベントでの情報発信を行い、袋町地区住民の防災意識を高めていく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・生活避難場所における役割に対応できる人材の確保ができる ・消火体験、応急手当などを体験しておくことで、実際の災害時に役立つ。 ・体験に参加する人たちで顔の見える化ができる。 ・今後の防災事業へつなげていくことができる。	

1 事業名	情報発信・共有事業	(8)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	通年	
(2) 実施場所	袋町学区内	
(3) 参加者数	700 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち	
4 取組内容	ホームページ、Instagram、LINE 公式、など世代別に使いやすい SNS の活用や町内掲示板を新規設置し組織的な運用を行い、既存メディアとの連携・補完を進め、住民、町内会、NPO、商店街、企業、行政等が共有できる情報プラットフォームを構築する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 各世代・立場の違いに関係なく、必要な情報に「アクセスできる」「届けられる」ことを保証する。地域内の団体や個人が互いの活動や課題を「知り合う」ことを通じて、連携や協力のきっかけを生む。緊急時にも頼れる“情報のネットワーク”を日常から整えておく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 若年層から高齢者まで、それぞれの世代に届く手段を併用することで情報の取りこぼしを防止する。他団体・他世帯の動きを把握できることで、連携しやすくなり孤立や重複支援の防止にも寄与する。リアルタイムの情報共有により、迅速な避難誘導や安否確認、支援要請が可能になる。回覧板や印刷物による手間の軽減、若い世代の関与を促す魅力的な発信スタイルを確立する。	

1 事業名	子育て支援事業（エンジェルズポーチ）	（8）事業中（6）事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	袋町児童館	
(3) 参加者数	200 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち、袋町地区民生委員児童委員協議会（エンジェルズポーチ）	
4 取組内容	地域の子育て世帯への支援の一環として、未就学児を対象にリトミック講師による音楽教育の教室を開催し、子どもの情操教育を育成していく。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） みんなで育てる子どもたちの笑顔が輝き、誰もが参加でき、集えるあったかい地域にあったかい未来を築く。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・親子でのスキンシップや共同体験の機会を作ることができる。 ・孤立しがちな未就園児育児世帯の保護者が気軽に話しをする交流の場となる。 ・講習料が高額な音楽教育を平等に体験することができる。 ・子どもの可能性を広げることができる。	

1 事業名	商店街連携事業（ヘッドドレスワークショップ）	(8)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	学区内企業、店舗など	
(3) 参加者数	50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 エルモふくろまち・広島市中央部商店街振興組合連合会、 連携企業	
4 取組内容		
学区内の企業、店舗、連携企業等と連携して、仕事や地域の文化を通じた子供たちの学びの場を提供する。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 袋町学区は広島市の経済の中心地を含み、多くの企業や店舗また地域文化が存在する。地域の子供たちに自分たちが住むエリアの企業の事を知り、地域の文化を学ぶことで、企業、店舗と地域の子供たちとのつながりを深める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・子供たちと地域の企業・店舗とのつながりが深まる。 ・職業体験などを通じて働くことの大切さを知ることができる。 ・地域の文化を学ぶことで、地域により愛着を持つことができる。		

1 事業名	商店街連携事業（企業・団体連携）	(8)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
実施場所	学区内企業、店舗など	
参加者数	50 人（見込み）	
(1) 主催団体	団体名 エルモふくろまち・広島市中央部商店街振興組合連合会 連携企業	
4 取組内容		
学区内の企業、店舗、連携企業等と連携して、仕事や地域の文化を通じた子供たちの学びの場を提供する。		
5 目的・効果		
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 袋町学区は広島市の経済の中心地を含み、多くの企業や店舗また地域文化が存在する。地域の子供たちに自分たちが住むエリアの企業の事を知り、地域の文化を学ぶことで、企業、店舗と地域の子供たちとのつながりを深める。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・子供たちと地域の企業・店舗とのつながりが深まる。 ・職業体験などを通じて働くことの大切さを知ることができる。 ・地域の文化を学ぶことで、地域により愛着を持つことができる。		

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容